薬剤情報

2023-8月　No.4

1．採用薬品情報（2023/07/31　薬事審議会）

1）新規採用薬剤

① ソグルーヤ皮下注 5 mg, 10 mg
薬価：5 mg ￥24,366　　10 mg ￥48,732

【薬効分類】長時間作用型ヒト成長ホルモンアナログ製剤
【用法・用量】
〈成人成長ホルモン分泌不全症〉
通常、ソマプシタンとして 1.5 mg を開始用量とし、週 1 回、皮下注射する。なお、開始用量は患者の状態に応じて適宜増減する。その後は、患者の臨床症状及び血清インスリン様成長因子-I（IGF-I）濃度等の検査所見に応じて適宜増減するが、最高用量は 8.0 mg とする。
〈成長ホルモン分泌不全性低身長症〉
通常、ソマプシタンとして 0.16 mg/kg を、週 1 回、皮下注射する。

② ハイゼントラ 20%皮下注 1 g, 2 g, 4 g
薬価：1 g ￥10,653　　2 g ￥20,569　　4 g ￥40,603

【薬効分類】血漿分画製剤（皮下注用人免疫グロブリン製剤）
【用法・用量】
〈無又は低ガンマグロブリン血症〉
通常、人免疫グロブリン G として 50～200 mg（0.25～1 mL）/kg 体重を週 1 回皮下投与する。2 週間に 1 回投与する場合には、1 週あたりの用量の 2 倍量（100～400 mg（0.5～2 mL）/kg 体重）を皮下投与する。なお、患者の状態に応じて、1 週もしくは 2 週あたりの投与量及び投与回数は適宜増減する。
〈慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の運動機能低下の進行抑制（筋力低下の改善が認められた場合）〉
通常、成人には人免疫グロブリン G として 1 週あたり 200 mg（1 mL）/kg 体重を 1 日又は連続する 2 日で分割して皮下投与するが、患者の状態に応じて、最大 400 mg（2 mL）/kg 体重から投与を開始することもできる。なお、維持用量は 200～400 mg/kg 体重で適宜増減する。

③ マンジャロ皮下注アテオス　2.5 mg, 5 mg
薬価：2.5 mg ￥1,716　　5 mg ￥3,428

【薬効分類】持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬
【用法・用量】通常、成人には、チルゼパチドとして週 1 回 5 mg を維持用量とし、皮下注射する。ただし、週 1 回 2.5 mg から開始し、4 週間投与した後、週 1 回 5 mg に増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週 1 回 5 mg で効果不十分な場合は、4 週間以上の間隔で 2.5 mg ずつ増量できる。ただし、最大用量は週 1 回 15 mg までとする。

④ マイトマイシン眼科外用液用 2 mg　　薬価：￥1,563.9

【薬効分類】眼科用マイトマイシン C 製剤
【用法・用量】医療用スポンジに 0.1～0.5 mg（力価）/mL マイトマイシン C 溶液を浸潤させて、手術中に手術部位の組織上に最大 5 分間留置した後、十分に洗浄する。

⑤ ストロカイン錠 5 mg　　薬価：￥5,8

【薬効分類】消化管粘膜局麻剤
【用法・用量】通常成人 1 日 3～8 錠（オキセサゼインとして 1 日 15～40 mg）を 3～4 回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

2）後発品・メーカー変更・規格追加薬剤

- エディロール錠 0.5μg, 0.75μg（後発品から変更）
- ポララミン錠 2 mg（d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠6 mgからの変更）
- 注射用フサン 50 mg（後発品から変更）
- アジルサルタンOD錠「サワイ」10 mg, 20 mg, 40 mg（先発品からの変更）
- ペメトレキセド点滴静注「NK」100 mg, 500 mg（先発品からの変更）
- ロクロニウム臭化物静注液50 mg「マルイシ」（先発品からの変更）
- ガベキサートメシル酸塩100 mg「タカタ」（「日医工」からの変更）

・フィルグラスチムBS注シリンジ75μg「F」（先発品からの変更）
・セフタジジム静注用1 g「サワイ」（「日医工」からの変更）
・ナフトピジルOD錠25 mg, 50 mg, 75 mg「タカタ」（「EE」からの変更）

3）削除品目

・エルデカルシトールカプセル 0.5μg, 0.75μg「トーワ」
（エディロール錠 0.5μg, 0.75μgを採用のため）
・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠6 mg「武田テバ」
（ポララミン錠2 mgを採用のため）
・アジルバ錠10 mg, 20 mg, 40 mg
（アジルサルタンOD錠「サワイ」10 mg, 20 mg, 40 mgを採用のため）
・アリムタ点滴静注100 mg, 500 mg
（ペメトレキセド点滴静注「NK」100 mg, 500 mgを採用のため）
・エスラックス静注用50 mg
（ロクロニウム臭化物静注液50 mg「マルイシ」を採用のため）
・ガベキサートメシル酸塩錠100 mg「日医工」
（ガベキサートメシル酸塩100 mg「タカタ」を採用のため）
・グランシリンジ75μg
（フィルグラスチムBS注シリンジ75μg「F」を採用のため）
・スルカイン錠100 mg
（ストロカイン錠 5 mgを採用のため）
・セフタジジム静注用1 g「日医工」
（セフタジジム静注用1 g「サワイ」を採用のため）
・ナファモスタットメシル酸塩静注50 mg「日医工」
（注射用フサン50 mgを採用のため）
・ナフトピジルOD錠25 mg, 50 mg, 75 mg「EE」
（ナフトピジルOD錠25 mg, 50 mg, 75 mg「タカタ」を採用のため）

2．新規 院外処方薬（院外処方箋でのみ処方可）

・ベネット錠2.5 mg